

大隅地域感染症情報

2019年第14週報（4月1日～4月7日）

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部

○全数把握疾患の報告数

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	該当なし	該当なし
五類感染症	百日咳：1件	該当なし

※速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○定点把握疾患の報告数

・鹿屋保健所管内の水痘について、注意報の基準値を上回っており注意が必要です。

水痘は、飛沫感染や水疱内容物との接触による接触感染で感染します。予防方法としては、手洗いの励行やワクチン接種などです。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体 14週	県全体 13週
			11週	12週	13週	14週	11週	12週	13週	14週		
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	4.63	1.38	1.13	0.38	5.80	3.80	4.80	2.40	1.15	1.36
RSウイルス感染症	-	-	0.80	0.60	0.40	1.40	1.00	0.33	0.67	1.00	1.25	0.94
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.80	1.20	0.40	1.20	0.67	0.00	0.00	0.00	0.75	0.98
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	0.60	2.00	0.60	0.80	1.33	0.00	1.00	0.33	0.63	1.81
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	7.40	10.00	8.20	7.60	3.33	6.67	6.00	4.33	6.38	7.80
水痘	2.00/1.00	1.00	0.80	1.20	0.60	1.40	1.67	0.00	0.00	0.67	1.13	0.24
手足口病	5.00/2.00	-	0.00	0.20	0.00	0.00	0.33	2.33	1.67	1.33	0.50	0.33
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20
突発性発疹	-	-	1.40	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.33	0.00	0.13	0.24
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.00	0.00	0.00	0.20	0.67	0.33	0.33	0.33	0.25	0.06
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.20	0.20	0.40	0.40	0.33	0.00	0.33	0.33	0.38	0.15
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	1.00	3.00	2.00	2.00						1.86
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	

警報基準値以上

注意報基準値以上

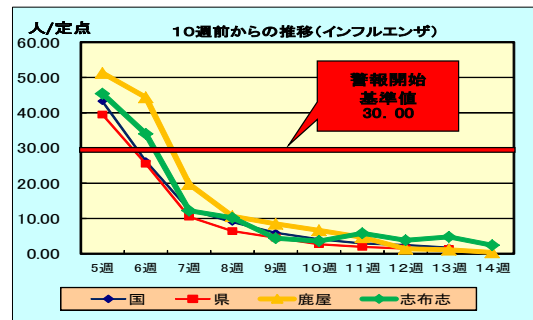
○インフルエンザについて

【 警報開始基準値 30.0, 警報終息基準値 10.0, 注意報基準値 10.0 】

インフルエンザの発生状況は、
鹿屋保健所管内からは3名（定点当たり報告 0.38）の報告がありました。

志布志保健所管内からは12名（定点当たり報告 2.40）の報告がありました。

年齢別では、6歳が最多でした。



※第14週は鹿屋・志布志のみ掲載

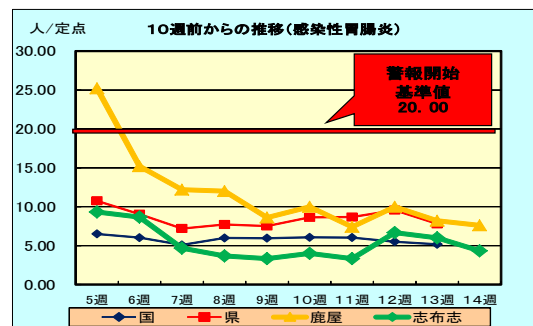
○感染性胃腸炎について

【 警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0 】

感染性胃腸炎の発生状況は、
鹿屋保健所管内からは38名（定点当たり報告 7.60）の報告がありました。

志布志保健所管内からは13名（定点当たり報告 4.33）の報告がありました。

年齢別では、4歳が最多でした。



※第14週は鹿屋・志布志のみ掲載

百日咳に気をつけましょう！

県内で百日咳の報告が増えています。管内でも今年に入ってから報告が続いています。百日咳は小児に多く見られる病気ですが、近年は小学校高学年以上の患者が増えており、学校など狭い空間を長時間共有する施設での集団発生が起きているため、注意が必要です。

【 症状 】

頑固な咳が特徴です。

風邪のような症状で始まり、1～2週間後に特有の咳の発作が出現します。咳はコンコンと立て続けに起こり、最後にヒューと音をたてて息を吸い込むような特徴的なものです。

咳の発作は特に夜間に多く、2～3週間程度続きます。

【 注意すること 】

- ・咳がおさまらず、ますますひどくなる
- ・夜間に咳が多い
- ・コンコンと乾いた咳が数十回連続して出る

このような症状が見られたら、百日咳に感染している可能性があります。早めに病院を受診して適切な治療を受けましょう。



※学校保健安全法における取扱い

第2種の感染症に定められており、「特有の咳が消失するまで、または、5日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで」出席停止となります。